



西新潟中央病院

# NST NEWS 第57号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2019年1月8日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線1304

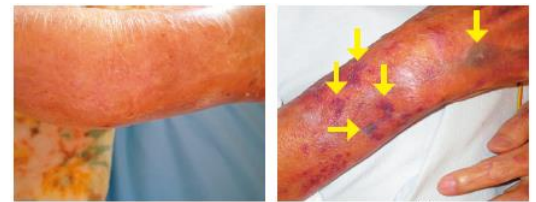
## NSTミニレクチャー第35回 ～ スキン-テアについて ～

月に1度の栄養の勉強、NSTミニレクチャーのコーナーです。

平成30年度の診療報酬改定において、褥瘡のアセスメントの危険因子に新たに「スキン-テア」の評価項目が追加されたのをご存知ですか？高齢化に伴い「スキン-テア」の発症者が増加し、その対策が急務となっています。今回は「スキン-テア」についてお話しさせていただきます。

### 1. スキン-テアとは？

スキン-テアは、「摩擦・ずれによって皮膚が裂けて生じる真皮深層までの損傷(部分層損傷)」と定義され、右写真のような皮膚の状態ではスキン-テアが発生する可能性が高くなります。



乾燥  
(かさかさした皮膚)

多数の紫斑

### 2. どのような人がなりやすいの？

スキン-テア発症者は、

- ①高齢(75歳以上) ②日常生活自立度が低い
- ③入院期間が長い ④BMIが低い(平均20)
- ⑤栄養摂取量が少ない

という特徴があります。明らかなるい痩がなくても疾病による異化亢進の状態が長く続いていたり、栄養摂取・投与量が少なく急激に体重減少がみられている患者は注意が必要です。また、抗凝固薬やステロイド剤を内服している患者は出血しやすく皮膚剥離なども起こしやすい状況にあります。



浮腫 (むくみ)

水泡 (水ぶくれ)

### 3. とにかく予防が大切！

スキン-テア予防には**保湿**と**外的保護**が原則となります。しかし、スキン-テア保有者の皮膚は脆弱であり、内面から予防する意味で栄養サポートが重要といえます。

脱水や低栄養のアセスメントを行い、必要に応じて栄養介入を行うことで皮膚の脆弱性を改善させ発生を予防することが重要です。

日本創傷・オストミー・失禁管理学会から発行されている「ベストプラクティス スキン-テア(皮膚裂傷)の予防と管理」では低栄養、脱水を評価し、疾患を考慮した栄養管理の実施が推奨されています。

スキン-テアを発生させないために、どのような患者にリスクがあるのかをしっかりと共有しておきましょう。

#### 【参考文献】

日本創傷・オストミー・失禁管理学会「ベストプラクティス スキン-テア(皮膚裂傷)の予防と管理」、ヘルスケア・レストラン 7、8月号

#### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も NST では低栄養の改善と栄養療法の推進に努めていきたいと思っております。食事が摂れない、痩せている、退院してからの食事管理が心配など患者さんの食事や栄養状態に気になることがありましたらお気軽にお声かけください。